

なでしこ通信 第 55 号

《隔月発行》

— 目 次 —

- ★「従軍」慰安婦問題をめぐり一考察
幹事 大津寄章三
- ★グレンデール慰安婦像問題と在米日本人の状況
- ★救う会愛媛 椿神社における啓発活動のご報告
- ☆事務局から

「従軍」慰安婦問題をめぐり一考察 ■ □

めざす会幹事 大津寄 章三

最近、表記の件をめぐり日韓間で何度目かの大きな動きが見られた。いわゆる平成 5 年の河野談話をめぐり、日本政府が行ったためであるが、6 月下旬に発表されたその報告書は、談話がはじめから“日本軍による強制ありき”の線で擦りあわされていたこと、および慰安婦の聞き取りがおよそ歴史検証にも裁判にも耐え得ないずさんな水準のものであることを余すことなくあぶり出してしまった。



韓国側が常軌を逸した火病的反応を示したことは論を待たない。それはそうであろう。「親日」と犯罪が同義語である世論の国で、韓国人慰安婦が強制性なしでその仕事に就いていたということになれば、それは「合意」「同意」以外にありようもなく、彼らのアイデンティティや民族的誇りやらがちゃぶ台返しをくらうことは必至だからである。

この隣国の窮状を見かねたわれらが愛媛新聞は、早速、日本糾弾派の教授の研究を紙面いっぱいにも踊らせ、日本軍の強制性をにじませる関与を二度まで訴えたが、談話の中心に

存在していた石原官房副長官が「いかなる意味でも政府の指揮・命令の下に（慰安婦連行を）強制したことを認めたわけではない」という核心的証言をしたため、春の淡雪のようにかすんでしまったのはご愁傷さまであった。



さらに、慰安婦に対する韓国の執拗なこだわりは、皮肉にも自らの首骨を砕くブーメランとなってしまった。報告書からわずか4日後、50年代から70年代（つまり戦後）にかけて韓国内に置かれた米軍基地の将兵を相手とする慰安婦業務を「強制された」と訴える百名超の女性が現れたのである。彼女たちは人身売買や拉致まがいの方法で「外貨を稼ぐ愛国者」として米兵にあてがわれたという。

この話の強烈なオチは、当時62カ所に置かれた米軍慰安所に一万名近い韓国人慰安婦を送り込んだ管理責任者が、なんと現大統領の実父である朴正熙元大統領であったという点であろう。

ネットは当然のように大炎上である。彼らの言を待つまでもなく、日本に「歴史を直視せよ」と常日頃のたまうからには、理の当然として韓国政府および慰安婦の人権と名誉回復をめざす韓国市民団体は、ただちに米国大使館正面に“米軍慰安婦”像を建立するとともに、国内の親米派は九族に至るまで時効なしの犯罪者として逮捕・服役させなくてはなるまい（そうすると真っ先に収監されるのは現大統領であるが）。

今春、私は慰安婦問題についての講演依頼を受けたのをきっかけに、改めてこの経緯をおさらいしてみた。その中でつくづく感じたのは、この問題に関して何より罪深いのは韓国側ではなく、むしろ日本国内の反日勢力であるということである。

「従軍」慰安婦なる当時存在しなかった用語をデビューさせた作家も、済州島で少女たちをトラックでさらって慰安所に送り込んだという偽証言を繰り返した元軍人もれっきとした日本人である。さらにこの問題を国会で追及し国際問題化させたのは社民党の議員であり、日本政府を訴えるため半島に渡り鐘や太鼓で元慰安婦の原告を捜したのも日本人活動家である。そして極めつきは朝日新聞であり、名乗り出た慰安婦の証言を創作してまで強制連行のスクープを組んだ朝日の記者は、なんと韓国で反日裁判を主導している団体役員の娘婿というのだから開いた口がふさがらない。

その後も日弁連は反日弁護士にロビー活動をさせ、この問題を国連人権委員会マターとすることに成功、その延長線上にある国連クマラスワミ報告書により、今や日本への国際

評価は「二十万もの隣国女性を性奴隷（この言葉を創作し定着させたのも日本人弁護士である）として陵辱した唾棄すべき国」という濡れ衣以外の何物でもない線でゲル状に固まり



りつつあるのである。ちなみに、一昨年ソウル西大門区に慰安婦問題に特化した人権博物館が開館したが、この建設よびかけ人や資金寄付者の大半も日本人であったことはつとに知られている。また、最近の報道によれば、大分県教組が旅行法に抵触する違法営業であるにもかかわらず、中学生と保護者に反日てんこ盛りの慰安婦施設を巡るツアーを勧めていたことが判明した。

このように、慰安婦問題はまさに日本発なのである（その証拠に、1965年の日韓基本条約締結時には何の話題にもなっていない）。私は、不埒な日本人活動家の策謀に踊らされて錯乱状態に陥っている韓国政府とその世論に同情するほど心が広くはないのだが、それでもこの「歴史的冤罪認識」に関して言えば韓国はいわば従犯であり、火付けの主犯は朝日新聞をはじめとする「在日日本人」であることははっきりと認識している。

虚偽と悪意と捏造に手を染めてまで己が祖国を呪詛してやまない奇態な信条が、どのようにして形成されたのかは心理学者の研究対象なのかもしれないが、少なくとも「戦後レジーム」の超克とは、このような狂気との対決をも内包する困難な闘いであることは間違いない。

（冊子発行後の注）

慰安婦問題は、会報41号（平成23年9月1日発行）および52号（平成25年5月25日発行）でも取り上げています。

グレンデール慰安婦像問題と在米日本人の状況

■ロサンゼルスにおける韓国系移民の度合いと人口増加の影響

ロサンゼルスはいくつもの都市が、白人街→日本人街→韓国人街へと移行してきた歴史がある。例えば、現在の Koreatown が位置する場所は、40年前には日本人・日系人の居住区であった。それ以前は、アメリカ人（主に白人）の街であった。最近の例で言うと、Gardena 市や Diamond Bar 市には多くの日本人が住んでいた（↑ブロードウェイの下はコリアウェイ）が、少しずつ韓国人が移り住んで来て、今では韓国人に乘っ取られた感じになっている。

ちなみに、Gardena 市はアメリカに日本人・日系人が最も多く住むと言われる Torrance 市の隣にあり、先日発表された米国トヨタ本社のテキサス移転に伴い、さらに日本人・日系人の数が減ることが予想される。



韓国人が移住して来た街の教会にはハングル文字の看板が出るようになり、日本料理のお店が次々と韓国料理屋に代わり、多くの施設の買収が急速に進められる。アメリカ人から見た韓国人（韓国系アメリカ人含む）に対する見方は、韓国系も中国系も日系も区別がつかないようである。大きく言うと、アジア人は全てチャイニーズと思われている。日本人の我々から見たアメリカに住む韓国人は、個々に付き合うにはとても親切だが、団体になると非常に凶々しく、特に日本人に対しての競争心が激しい。

アメリカには様々な人種が住んでおり、ある意味で世界の縮図であると言える。ゆえに、アメリカで起こる人種間の問題は、世界情勢を反映していると強く感じる。そして現在、ロスだけでなくアメリカ全土で韓国系市民が多く住む都市には、政治的に力を持った韓国系市議会議員や親韓議員がおり、反日運動を広めようと躍起になっているのがよくわかる。これに対して、日本政府（領事館を含む）の対応は無に等しいと感じざるを得ない。またそれらの都市は今後、慰安婦像の建設や東海表記などの問題を抱える地域となり得るので、政府としても注目していただきたい。

■在米日本人保護者の立場から教科書問題を考える



海外で暮らす日本人の子供達に、親は日本という国の素晴らしさを日常的に語っているが、こと歴史に関しては、現地校で習う米国市民の視点に立った歴史教育が子供達にとっては絶対であり、それが日本人としては受け入れがたい内容も少なくないため、悔しい思いをしているのが現状である。

子供が通っている日本語補習校でも、自虐史観が問題視されている東京書籍であるため、在米邦人の子供達は現地校と補習校の両方で「日本が昔悪いことをした」としか学んでいない。

わが子には、常に「日本人として誇りを持て」と伝えているが、「日本人の誇りってなに？」「日本は悪いことをしてきたんだよ。教科書にもそう書いてある」と反論される。未来を担う子供達は国の宝だ。ゆえに、子供達には日本の歴史的歩みを正確に教えていた

だきたいと思う。日本人として自国を誇りに思う心を養う、その第一歩が教科書であると考え。

海外で教育を受けた子供達は、どんなことでも主張なしでは認めてもらえないことを身を持って理解しているため、歴史認識問題において強く自らの主張を展開していないように見える日本政府の姿勢を「恥ずかしい」「情けない」と感じているようだ。いわれなきことで日本を誹謗中傷する相手に対しては、過度に配慮することなく断固とした日本の主張を展開していただきたい。それが、慰安婦記念物や南京大虐殺記念物の設置防止につながり、米国の教科書における東海併記の阻止につながると信じる。

米国の公立学校では、世界史と米国史は必須科目だ。その教科書に「慰安婦強制連行説」「南京大虐殺」「独島」「東海」等が記載され、それに基づいて授業が展開されることは、日本人に対する国際的信用を失わせ、将来的にも日本の国益を大いに損なう事態であると危惧している。米国という移民社会に生きる日本人の子供達の自尊心にも関わる重要な問題だ。

■在米日本人の子供達が公立学校の歴史授業で直面する問題 (二人の高校生がおられるお母様の声)

昨今の韓国や中国との歴史外交問題で、我が子や全生徒数の1%にも満たない他の日本人の生徒達が、辛い目にあっていないかと心配していました。子供達は日本人クラブに所属していますが、そこに韓国人グループが寄ってきて「竹島は韓国のものだ!」と叫んで走り去って行く、ということが数回あったと話してくれました。日本人生徒達は啞然とし、どう返したらよいのかも見当が付かず、ただ嫌な感情だけが残ったとのことでした。

ある日、上の子がひどく悲しい顔をして学校から帰って来たので理由を尋ねると、「米国史の授業で担当の先生が、日本がどれだけ悪い国だったかを説明し、クラスでたった一人の日本人である自分はとても辛い思いをした」と言うのです。

同じ高校に通う下の子も「自分も今、世界史を習っているけれども、日本がどれだけ悪いのかを習っているよ」と言うのです。上の子は米国史、下の子は世界史の授業で、いかに日本が悪いかを学んでいるのです。そして二人ともあまり歴史の知識がないので、そのことを悲しいと思いながらも、学校ではそう習うものだと思っていたらしいのです。上の子は、「2時間続いたこの授業の90%は下を向いたまま聞いていた」と言いました。たとえ戦時中のこととはいえ、日本がとても酷い事をしてきたことに対し、「悲しい気持ちになったのと、日本という国が恥ずかしいという気持ちが入り混じった」と言います。

私は、米国の高校で教わる歴史教育の内容を我が子が鵜呑みにしないようにしなければ、と切実に思いました。しかし、どこから何について話したらよいのかも思いつかず、「日本について沢山の歴史が間違っていて伝えられているよね。例えば南京大虐殺は無かったのに、30万人を虐殺したと言われているし・・・」と言った途端、「えっ？そんなの教科書のどこにも書いていない!」と下の子が私を遮りました。日本の教科書問題の現状についても説明しましたが、「遅い!そんなの遅すぎるよ!日本は何でもっと早くからそれをやっていないの?」「遅いけど・・・でも何もしないともっと日本が悪く言われるから、英語できちんと日本のことを世界に発信して欲しい!今日、私がどれだけ惨めな思いをしたか。」

下の子は、アメリカ的歴史教育に感化されており、「お母さんが説明してくれても、自分達が読めるもので、日本はアメリカの歴史教科書に書かれているような悪い国ではなかったと反論できるものがひとつも無いじゃないか。だから歴史の授業中に日本が悪く言われても黙っているしかなかったんだ。悪い国でなったのなら、日本はもっと英語で世界の人に『正しい日本』を知ってもらわないと、このままずっと『日本イコール悪い国』と思われたままだ。そういうことを日本にいる日本人は知っているのかな?」と興奮して語りました。「遅すぎる!もう世界は『日本がナチスドイツよりも悪い国』だと思っているじゃないか!」と悔しそうに言うのです。

☆救う会愛媛 椿神社における啓発活動のご報告☆

2月6日・7日・8日に恒例の署名募金活動が行われました。めざす会は8日(土)12～14:00を担当致しました。3日間の募金額429,727円(昨年672,772円)、署名数は3,635筆(昨年5,357筆)でした。

3月28日の救う会拡大役員会で、小学生の子供が署名を強要されたという母親から苦情の電話があったことが報告されました。活動者が"強要"したということは考えられず一緒にいる友人につられて署名をしたのがその子供さんにとっては不本意であったのだろうと推測いたします。しかしこういう苦情が1件あったからと、会場のテントに座して待つのではなく、これからも積極的に呼びかけを行っていくことが確認されました。

◇◇◇ 事務局から ◇◇◇

★2月22日に開催されました『第2回えひめ親守詩大会』の『大会しおり』と新聞記事を同封いたします。協賛広告を出して下さった方には開催報告書とともに既にお送りしておりますので省いております。

★菅源三郎船長に関する資料を同封いたします。4月に韓国でセオール号沈没事件が起き

たとき、歴史が示す対照的な日本人の船員のモラルが話題になりました。しかし、今治に銅像の建つ菅源三郎船長について知っている人はいませんでした。かくいう私も数年前に今治の渡辺伸吾さんからお聞きして初めて知ったのです。「世界の艦船」に投稿された渡辺さんの銅像写真をたまたま菅船長のお孫さん・杉山さんがご覧になりお二人の交流が始まりました。お小さいときに除幕式に行かれた杉山さんは「(菅船長の)責任逃れをしない、言い訳をしない、引き受けた仕事は手抜きをしない、明治人の生き様は私の誇りです」とおっしゃっています。

★メールアドレス登録のお願い…今後、会報「なでしこ通信」以外の随時のお知らせにはメールを利用いたしたく存じます。パソコン、携帯のアドレスを下欄のメールアドレスまでご連絡いただくと幸いです。「件名」欄に必ず「めざす会」とお書き下さいませ。

★2月22日の「第2回えひめ親守詩大会」開催にいたるまでの半年でエネルギーを出し尽くした感があり、しばらく私事に勤しむ日々を過ごしました。しかし、日本の間違った歴史認識に苦しむアメリカに住む日本人の子ども達の苦悩に覚醒させられました。

健全な男女共同参画社会をめざす会

会長 青井 美智子

〒791-0221 愛媛県東温市上村甲 218

TEL 090-8971-7721 FAX 089-964-3903

ホームページ <http://www.mezasukai.com/> メール michikoaoi25@yahoo.co.jp